長崎市立大園小学校　校長室だより　Ｎｏ115

10月

今日の一言

８．１０．２２　校長　渕上　卓也

全力で　全員で　最高に輝いた小体会



先週は、小体会がありました。９月から放課後（６年生曰く「７時間目」）に練習を重ね、本番当日を迎えました。

渕上は横尾小学校であった「フラッグフットボール」の応援に行きました。この競技、ご存じですかね。簡単に言えば、「アメリカンフットボール」の接触なし競技です。タックルの代わりに、腰に下げているフラッグをとります。

作戦を立て、攻撃するんですよ。作戦タイムの時間がしっかり確保されていて、いろいろなフォーメイションを打合せします。体も使うけれど、頭も使う、そして何よりチームワークが大切な競技でした。ちなみに、若干ルールは違いますが、２０２８年のロサンゼルスオリンピックに正式競技として採用されています。残念ながら「フラッグフットボール」チームの結果は満足いくものではありませんでしたが、走って投げて守って、支え合い励まし合って、全力を尽くす大園っ子の姿を見ることができ、大変感動しました。

さて、他の競技についても、満足いく結果もあれば、悔しい結果もあったと思います。ちなみに「ターゲットボッチャ」は見事優勝でした。おめでとうございます。結果はどうであれ、小体会は小学校生活の大切な思い出となるはずです。５０年前の渕上少年の小体会も、心の中に思い出として刻まれています。「負けたなぁ～。でも、とっても楽しかった！！」

実は、今回の小体会で、渕上が一番嬉しかったのは、大会当日ではなく、後日結果報告をした校内放送の時なんですよね。「〇〇競技の結果は、〇勝〇敗でした。」で終わらずに、「指導してくださった先生方、応援してくれた在校生の皆さん、ありがとうございました。」と、どの競技もしっかりお礼の言葉を伝えてくれたことです。多くの方に支えられて小体会に参加できたことをしっかりと理解してくれていた！！思わず「しあわせのバケツ」に水を注いだ渕上でした。



＜今日の一句＞

小体会
勝っても負けても
思い出に　　卓也